

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年6月8日 文責：校長 森川 稔

正確に読み取る

先週5年生に出した課題です。

宿泊学習の思い出を次の条件に合わせて書きましょう。

- 思い出に残った活動を一つ取り上げて書くこと
- 活動中の会話を「 」で表して入れること
- その時の自分の気持ちを書くこと
- 80字以上100字以内で書くこと

数名の作文を紹介します。

【Aさん】

ぼくが思い出に残ったのは、森林グループワークです。「わっしょい。」と大きな声で言えるか心配だったけど、思った以上に大きく「わっしょい。」と言えたから、自分でもびっくりしました。自分に自信がつかしました。(98字)

【Bさん】

ぼくは、さわのぼりが思い出に残っています。みんなと協力して「あともう少しだよ。」と声をかけあいながらゴールまでたどりつけてうれしかったです。かえりはみんなとしゃべりながら楽しくかえってよかったです。(98字)

【Cさん】

沢登りを宿泊学習でしました。かなとくんに「がんばろう。」と言われたのでうれしかったです。さいごまでみんなといっしょにちょう上まで行けたのでよかったです。水が冷たくて気持ちよかったです。(98字)

【Dさん】

わたしが思い出に残ったのは、さわのぼりです。なぜかというみんなで助けあえたからです。こけそうになったら、サクラちゃんやゆずきちゃんなどが「大じょうぶ？」と声をかけてくれたのでうれしかったです。(97字)



課題文を読み取り、条件に合った作文を書くという内容です。これらを「条件作文」と言います。一見すると簡単そうに見えますが、実は子どもたちにとっては意外と難しい課題です。なぜなら、「思い出に残った活動を一つ選ぶ」「会話を入れる」「その時の気持ちを書く」「文字数を守る」など、複数の条件を正確に読み取り、それらを満たしながら文章を書かなければならないからです。

本校では、こうした「書く力」だけでなく、「問題文や指示を正確に読み取る力」に課題が見られます。学習の場面では、「何をすればよいのか」「何が問われているのか」を正しく理解できるかどうか、学力の土台となります。

そこで今年度の校内研修(よりよい授業づくりのための職員研修)では、「正確に聞く力、正確に

読み取る力の育成」を主題に掲げ、「毎時間の授業における正確な理解と読解力の向上をととして」を副主題として研究を進めています。

授業中の先生の説明や友だちの発言を正確に聞き取ること、教科書や問題文を正確に読み取ること、そして自分の考えを相手に伝えるように表現すること。これらはすべてつながっています。今回の条件作文も、その力を育てる取組の一つです。

紹介した作文を見ると、子どもたちは条件を意識しながら、自分の体験や気持ちをしっかり表現することができています。社会に出てからも必要となる『人の話を正確に聞く力』『文章を正確に読み取る力』。これからも、「何となくわかった」ではなく、「正確に理解する」ことを大切にしながら、子どもたちの学ぶ力を育てていきたいと思えます。

水泳学習が待ち遠しいです

先週金曜日は、今週末から始まる水泳学習に向けて、プール掃除を行いました。本来であれば砂や苔、汚れ等の除去に相当な時間がかかるのですが、6年生が作成し、あらかじめ入れてくれていたEM菌でかなりの浄水効果が出ていました。とはいえ、一年ぶりのプールです。たくさんのオタマジャクシに出迎えられ、4～6年生がたわしやデッキブラシを手に、一生懸命汚れを落としてくれました。3年生はプールまでの通路にマットを敷き、周辺の草むしりなどをがんばりました。

みんなの力できれいになったプールは、このあと水を張り、水質を整えた上で検査を受け、安全な環境での学びにつなげていきます。



ALTと図書先生の読み語り

毎週水曜日の朝に図書ボランティアの方による読み語りをしていただいていることをお知らせしましたが、今回は特別バージョンとして、昼休みに、ALTと図書支援の先生による読み語りが行われました。

会場には1年生から6年生まで、たくさん子どもたちが集まりました。ALTによる英語の読み聞かせと、図書支援員の先生のサポートが合わさり、子どもたちは物語の世界にぐんぐん引き込まれていきました。

お二人の優しく温かな声に耳を傾けながら、子どもたちは英語の響きや絵本の楽しさを味わっていました。英語がはじめての子どもたちも、表情や挿絵から内容を想像しながら、楽しそうに聞いている姿が印象的でした。



田平東小HPはこちらから

